

農作業に関連する火災の予防について

秋の農繁期を迎えるにあたり、トラクターやロールベラー、コンバインなどの農作業機械の火災が全国的に発生し、富良野地域においても頻発していることから、農作業に関連する火災の予防のポイントについてお知らせします。

農作業に関連する農業機械等の火災予防及び事故防止のポイント

農業機械駆動系からの出火



- ・使用前、使用中、使用後には必ず駆動系や油圧系、燃料系の異常の有無の確認及び、堆積したごみの掃除など点検・整備を行う。

- ・農業機械を長時間連続稼働する場合、適宜休止時間を設け排熱する。

農業機械燃料系配管からの出火



- ・10年以上経過した農業用機械等は、電気配線、燃料系配管、油圧ホース、及び接続部のパッキンなどは経年劣化等により亀裂、被覆剥がれ等が発生し危険なため点検し、必要であれば交換を実施する。

低圧進相コンデンサ(写真下部)からの出火



- ・建築年数が経過した農業用倉庫や納屋などの分電盤及び電気配線は、電気配線及び低圧進相コンデンサ等の経年劣化により火災が発生する危険があるので設置状況の確認をするとともに点検し必要であれば交換を実施する。

- ・農業用機械の火災のほか、駆動部分への巻き込まれ、挟まり、切断などの事故が発生し、死傷者が発生しておりますので、農業用機械の取扱い方法を今一度ご確認して頂き、安全に使用すること。

問い合わせ: 富良野広域連合 富良野消防署
指導係 23-5119